



南海医療センター附属介護老人保健施設
施設長 森本 章生



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、漢字“北”に代表されるようにミサイルという新たな脅威が浮かび上がってきた年でした。また北部九州豪雨や日本各地における水害、佐伯においては台風18号による水害と、自然からの脅威にも震撼させられた年でした。一昨年4月の熊本・大分地震や11月の福島県沖地震に引き続くように発生した自然災害であり、“南海トラフ地震・大津波”も現実起こるものとして考えておく必要があると思います。昨年も書きましたが、その時にどのような行動や対応をとるかは、やはり日頃からの訓練や家族との打ち合わせが大切であるとつくづく考えるところであります。

さて佐伯市における65歳以上の高齢化率は、一昨年11月で36.75%であり、昨年の11月では37.70%と、全国平均(27.7%)に比べるとかなり高齢化が進んできている地域であります。4月には診療報酬と介護報酬の同時改定が行われ、財源不足によりいずれにおいても個人負担が少し増えるような情報もあります。その中で南海老健の果たすべき役割は重要であると認識し、職員一同一丸となってより良いサービスの提供に努めて参りたいと考えておりますので、本年も御利用のほど何とぞよろしくお願い申し上げます。また本年が皆様にとって良い年でありますようお祈り申し上げます。

副施設長 麻生 浩美



新年明けましておめでとうございます。昨年中は、利用者様やご家族様そして地域の皆様より、暖かいご支援やご理解を賜り厚く御礼申し上げます。今年も皆様から安全で安心できる、そして信頼される施設作りを目指し、職員一同一丸となって努力してまいります。また、今年度は診療報酬と介護報酬の同時改定の年となっており、利用者様やご家族の負担等にも影響が考えられます。当施設といたしましては変更内容等については、解りやすく説明をする予定としておりますのでよろしくお願いいたします。皆様におかれましても、今年が良き年になりますように、お祈り申し上げます。

リハビリテーション室 室長
理学療法士 富松 満代



新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。日頃のご厚情に深く感謝いたします。昨年は入所リハビリの実施方法を試行錯誤し、利用者様にも看護・介護スタッフの皆様にも大変ご迷惑をおかけしました。限られた資源の中で、利用者様の持っている能力を出来る限り発揮できる体制を考えて「生活リハビリ」の浸透に努力しました。今年も引き続き工夫を重ね、より良い体制を築いていきたいと思っています。『人生100年時代』という新たなテーマが国から打ち出されています。老若男女それぞれが、持っている力を精一杯発揮する事、自身の能力を出来る限り維持する事、そして不足する点はお互いに助け合う精神が必要とされています。全てを社会保障費で賄うことは到底できないわけです。そしてその大切な資源(社会保障費)をいかに上手く活用するかが我々医療福祉従事者に問われていると解釈しています。入所・通所・訪問リハビリ、今年も笑いある中で楽しくやっていけたらと思っています。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

南海居宅介護支援センター
管理者 國部 昭夫



謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年中はご利用者の方々やご家族様そして地域の皆様より、暖かいご支援やご理解を賜り厚く御礼申し上げます。昨年も色々な出来事がありましたが、私にとって印象に残る事と言えば9月の台風18号による水害です。私の住む地域も大きな被害を受け、水害の怖さを改めて知ると共に、「防災」に対して改めて考えさせられました。私達、ケアマネジャーの仕事は利用者の自立支援のための計画作成が主な仕事です。その仕事を通じて、利用者の暮らしてきた地域や人の繋がり、医療や介護など多様な資源を知り、日常生活の中で包括的に支援していくことが大切です。この包括的な支援は災害にどう備えて対応するかも含めて構築していく必要があります。なんだか難しい話になってきましたが、何はともあれ今年も皆様に信頼される事業所を目指し、日々精進して参りたいと思いますので、今後とも変わらぬご愛顧を宜しくお願い申し上げます。

看護師長 久保田 忍



新年明けましておめでとうございます。昨年中は、利用者様やご家族様、そして地域の皆様より、暖かいご支援やご理解をいただき、ありがとうございました。今年も、看護・介護士一同、利用者様やご家族様の目線に立ち、ニーズに応えるサービスが提供できるよう努力してまいります。また、開設18年目を迎える老健にかかる課題に対しても地道に、ひとつずつ、できることから取り組んでいきたいと思っています。更に施設では、昨年から少しずつではありますが、地域の方々へ介護に関する情報の発信を行ってまいりました。今年も、職員一丸となって形にしていきたいと思っています。利用者様の笑顔を励みに、これからも『選ばれる施設』を目指して努力していきたいと思っています。今年もよろしくお願い致します。

管理課 課長補佐 岩木 功



新年明けましておめでとうございます。昨年はご利用者の方々やご家族様より暖かい支援やご理解を贈り厚く御礼を申し上げます。新年を皆様と迎えることができたことを嬉しく思います。昨年は台風18号の通過により佐伯地区も甚大な被害が発生しており佐伯市民として1日も早い完全復旧をお祈りしております。今年も成年ですが正確には戊戌年で意味は「一度滅びた後でも草木が再び生えて絶頂へと向かい成長していくぐさの事」だそうです。

介護士長 川井 忠明



新年明けましておめでとうございます。2017年は、皆様にとってどのような年でしたか。アメリカトランプ大統領就任に始まり、韓国の慰安婦問題、多くのテロ事件等、世界中でいろんなことが起こっていましたが、中でも北朝鮮問題は毎日のようにニュースとなりこの先どのようなことになるのだろうか心配されたのではないのでしょうか。国内では稀勢の里の横綱昇進に日本国中が歓喜し、明るい年となりましたが、国会議員の不適切な発言や不祥事、芸能界の覚せい剤事件、いじめ問題といった残念な事も多くありました。そんな2017年から2018年へと年が代わり、心も新たに新年を迎えられたことでしょうか。今年の干支は戌であります。戌年の方は、愛情深い表面的にはシャイなタイプなため派手なことや社交的なことは好まないのですが、自身の行動を通して自然に信頼を集めるためリーダー的な存在に適しているとも言われているようですので、皆さんの周りに戌年の方が居られましたら気にかけてみるのも面白いかもしれません。